

第2回学校評議委員会

日 時 令和6年11月26日(火) 15:30~16:30

場 所 日野第一中学校会議室1

出席者 松岡敬明 谷和彦 小川真由美 三浦寛朗 山本剛秀 伊野直美 池田恵美子 下田圭子
篠原仁美 安西功夫 和田栄治 木村孝治 緒方翔太 宮崎太樹 加藤裕保 桶田大樹

欠席者 なし

1 校長挨拶

和田…お忙しい中集まりいただきありがとうございます。6時間目の授業観察ありがとうございます。2学期も行事も終わり、まもなく無事終わりを迎えそうです。3年生はこれから最終進路を決定していくところです。今年度は学校だよりを不定期で配信しております。何かあれば遠慮なくご質問ください。

2 学校の様子について

生活 生活指導主任桶田より説明

合唱コンクールが無事終わった。行事は良いものだとつくづく感じている。3年は修学旅行、2年は職場体験、1年は日野調べに取り組み、学ぶことが多かった。生活指導が全く無かったわけではないが、内面を成長させる良い機会ととらえ積極的生徒指導を行っている。不登校の生徒が昨年度に比べ、大幅に減少している。不登校対応は一中は進んでいるが次年度の予算がどうなるか分からない。地域の力を借りながら、チーム日野一という形で進めていければと考えている。校則について、指定のセーターは指定でなくてもよいか、ということについてご意見をいただきたい。

伊野…昔はだらしく着ていた。それで指定になった経緯がある。

下田…前に話題に上がった髪の毛は？

桶田…特に生徒から話が上がってきていない。校則については一方的に生徒の内面的な成長を第一に置いて決めていきたいと考えている。

教務 教務主任加藤より説明

教員の授業に対する取り組みについて。探究的な授業に取り組んでいる段階。今年度から東京都授業改善推進校として1年目。ループリックを用いた授業の取組みを行っている。教師が話し続ける授業から脱却し、生徒の主体的な取組みがかなり実施できている。Chromebookの使用率が高く、故障も高い。单元テストを今年度から実施しているが課題も見えてきた。单元テストのメリットの部分があまり理解されておらず、保護者アンケートからも否定的な意見もあった。もっと情報を発信して、次年度の改善につなげていきたい。

進路 進路指導主任宮崎より説明

各学年の行事が終わり、発表会を行った。1年生は代表者発表会に、2年生は学級発表会に、関連する事業所の方々を招待し、事後にも懇談会を実施し、感想や意見を伺った。各学年1班を

朝礼などで発表していく。道徳地区公開講座を人間性の向上をテーマに2月に実施予定。3年生の進学指導の直近の流れについて。フォームを活用して指導を行っている。

3 学校評価について 校長から資料について説明

今年度は、豊かな人間性の育成に特に重きを置いて指導を行っている。人間性を高めるための行動5点を生徒会が決めて取り組んでいる。通知表に学力以外のコミュニケーション力や感情のコントロール力などの非認知能力の結果を挟んで保護者に通知している。これらの取組みについて、生徒、教員、保護者にアンケートを行う。

4 学校運営協議会について 校長より説明

来年度から地域運営学校（コミュニティースクール＝CS）にしていこうと考えている。CSになると、今の評議員会が学校運営協議会となり、地域コーディネーターという役職が必要になる。コーディネーターは学校と地域の橋渡しをする方で、次回決め、委員を市に推薦したい。

谷…コミュニティースクールのメンバーは教育委員会にメンバーを上げる形になると思う。

CSになると報酬が出るか。

山本…出ます。そんなに大きな報酬ではないが。

篠原…地域で子供が育っていくのは理想だが、ここにいる委員の方のような肩書が必要なのかと思ったが、肩書がなくても会議に参加できるのか？

和田…各組織の代表が出てきてもらう形にしたいと考えている。今いる皆さんも各組織の代表である。例えばPTAの代表が変わったら、次の代表の方が学運協に参加するようにして、個人が変わっても大丈夫にしたい。

5 その他

下田…この間合唱コンクールのとき、市役所の駐車場は待ちが出ていて止められなかった。その日、民生委員の会議も同時にあったらしいが、民生委員が車を止められないと嘆いていた。保護者がコンクール時に駐車場に無断で停めているのではないか。その対応を考えたほうが良いのでは？

和田…選挙の関係で、合唱コンクールで駐車場は使わないようにと、市から通知が来おり、車で来ないようお知らせを何回も出していたが…

下田…保護者の自覚が少し足りていないのかもしれない。

篠原…道徳授業地区公開講座の講師の本（学校に行けな子供の気持ちがわかる本）を読んでいる途中だが、大人が適切な環境を作っていく必要があるので、保護者や地域の方々含め、子供のことを第一に考えて行動していきたい。

和田…不登校対応については一中はかなり進んでやっているが、不登校対応は費用対効果が中々厳しいが、少しずつ生きてくる。いくつかの本に、保護者の関係も大きいと書いてあったので、講演は、保護者向けの話をしてもらうことにした。学校と家庭との連携を広げていきたい。

5 今後の予定について

第3回 2月13日(木) 午後3時30分～午後4時30分

谷…それぞれの先生から状況が聞けて良かった。前任校と比べてどうなのか桶田先生に聞きたい。

桶田…一中はICTの活用が進んでいてすごくびっくりしている。子供はどの子も素直で一中も前任校の生徒も同じだと思う。家庭環境の違いはすごく感じる。前任校と比べると、家庭の力がすごく強い。反面、辛辣な意見も家庭からもらっているのも事実。

谷…ICTを使うと基礎学力が下がると言われているのはどう思う？

桶田…あくまでツールとしての活用だと思う。使いこなすことが大事だと思っている。

配布資料

学校便り3号～4号

学校評価アンケート内容